

1. 件 名：「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の変更認可申請に係るヒアリング（２）」

2. 日 時：令和５年４月１２日（水） １１時００分～１１時３０分

3. 場 所：原子力規制庁 １０階会議室（TV 会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

松本企画調査官、田中管理官補佐、羽場崎安全審査官

リサイクル燃料貯蔵株式会社

赤坂常務取締役 他 １０名

5. 自動文字起こし結果：別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む場合があります。

6. 提出資料

なし

参考

※ 令和５年３月３０日「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の変更認可申請に関する資料提出」

| 時間 | 自動文字起こし結果 |
|----------|---|
| 00:00:02 | 規制庁の田仲です。4月12日、 |
| 00:00:06 | あれです。設工認のにかかる、 |
| 00:00:10 | ヒアリングを開催いたします。 |
| 00:00:13 | 本日のヒアリングについてですけれども、1000本にしました3月は、 |
| 00:00:20 | 3月29日に行ったヒアリングに於いて出た。 |
| 00:00:24 | コメント計上のコメントに対して3月30日にコメント回答資料を提出していただいております。その提出資料に関しまして規制庁側から幾つか気になる点がございましてそちらの方をお伝えしてそれについての議論をさせていただければと思います。 |
| 00:00:42 | それではまず規制庁側の浜崎の方から、急激な方使えますので、よろしくをお願いします。 |
| 00:00:50 | はい、浜崎です。 |
| 00:00:52 | あれ数の方から申請がありましたですね経産省新経産省の中で、これちょっと重複するかもしれませんけれども、 |
| 00:01:03 | 検討用地震力の設定値というのが出てます。 |
| 00:01:09 | その値がですね、通常ですと、地震応答解析、通常、もっと細かい話をしますと物性値のばらつきを考慮した。 |
| 00:01:19 | ケースも含めての包絡値について、応答解析結果に基づいて、検討用地震力を設定するというのが通常のパターンというふうに、 |
| 00:01:29 | 理解してます。 |
| 00:01:31 | ただ今回RFSは、 |
| 00:01:35 | 等をと解析の結果をそのまま用いるのではなく、 |
| 00:01:39 | 値を使っていると、いうことでこちらの方から質問しました。 |
| 00:01:45 | その結果ですね3月30日RFSの方から回答がありまして、 |
| 00:01:50 | 一定の係数ですね具体的にはこういう表示がありますのは、1件で8というマージンを考慮して、設計を地震力は考えてますと。 |
| 00:02:03 | いう、説明がありました。 |
| 00:02:05 | この具体的に、1.08の位置付けで、その設計というのはすべて、建物構築物、機器すべてについて、同様に設定しているのか。 |
| 00:02:17 | 或いは、設計や床応答曲線との対応はどうなっているのかと。 |
| 00:02:22 | いう点についてですね、今日こちらから質問といいますか内容を確認したいというのが本日の趣旨です。 |
| 00:02:32 | まずですね1. で-8という数字をジオを考慮して設計用地震力を考慮してということなんですが、この1.08という数値の根拠。 |
| 00:02:45 | それと、この余裕というのを、設計用地震力を設定する上で、どのように使っているのか、先ほど言ったように、 |
| 00:02:55 | すべてに対し技術欠けているのかとかですね。 |
| 00:02:59 | 等を、どういう扱いをし、して、このマージンというものを考慮しているのか、その点について事業者の方から説明をまずお願いします。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|----------|---|
| 00:03:11 | はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。 |
| 00:03:14 | まず先ほどのちょっと1.08のお話につきましてちょっとご説明いたします。まず、ちょっと画面共有で前回のコメント回答の資料、 |
| 00:03:25 | の方、ちょっと今お手元の方でもあるかと思いますが、ご覧いただければと思うんですが、ちょっとまず、こちらちょっと最初にちょっとお断りさせていただきまして、まずこちらコメント回答でお話した検討新緑の線。 |
| 00:03:39 | 1000、設定につきましては、建物と建屋の検討用地震力の設定についてのお話をちょっとコメント回答させていただいたものでありまして、 |
| 00:03:51 | もともと機器側の方で、の検討用地震力、床応答曲線体数、 |
| 00:03:59 | 県計画新緑の話とはちょっと別のものとして考えちょっと考えております。ということでまずこちらもともと機器及びディケア建物それぞれで考えておりました検討地震力の、 |
| 00:04:15 | 考え方を変えるものではございません。 |
| 00:04:18 | はい。 |
| 00:04:19 | いうところがあります。それでまずこのコメント回答でお話したこの検討新緑の考え方についてなのですが、こちらではちょっとコメント回答で、ちょっと1例として、 |
| 00:04:32 | 一つの鉛直のところの119支店のケースで、というところの例をちょっと挙げさせていただきました。この場合ではちょっとその1.08を掛けた、ちょっと例をちょっとお示ししてたところがあるのですが、 |
| 00:04:48 | ちょっとわかりづらいところがありましたので、ちょっとちょっと今後ですがちょっと別の方、この補足説明資料の方にちょっと、 |
| 00:04:58 | 資料をちょっと追記して、ご説明することで考えて、ご説明することで考えております。ちょっとその内容をちょっと画面共有の方でちょっと |
| 00:05:08 | お示しさせていただければと思うのですが、ちょっと検討用地震力の設定と言っているんですが、ちょっと具体的にどうやっているかということをやちょっと、 |
| 00:05:19 | お示しして、ちょっとまず、 |
| 00:05:24 | 御説明進んでできればと考えております。ちょっとすいません。1点先ほどのコメント回答で誤解を招いてしまったのですが、1.08という値なのですが、 |
| 00:05:35 | これはちょっとすべてについてその1.08、すべての添の全部について108をかけるというものを、想定していたわけではなく、ちょっと視点ごとにちょっと値が変わること、変えることをちょっと想定しておりますのでちょっとそこをご承知おきいただければと。 |
| 00:05:51 | 思います。 |
| 00:05:52 | すいませんちょっと、それで、その1.08というのをどうやって決めているかということをやちょっと流れを、ちょっとこの表で、お示しできればと思っております。 |
| 00:06:03 | 止めて、どういうことをやっておりましたかといいますと、まず、ここ、表の一番の列に基本ケースの値を包絡した値を、 |
| 00:06:14 | 示しておりますが、まず、応答解析で出た値、基本ケースの値を |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|----------|---|
| 00:06:20 | まず、整理いたしております。その次に、不確かさ、②番のところで、不確かさケースの値を最大値を包絡した値を整理しております。 |
| 00:06:32 | それでもって、この②番と①番、不確かさケースと、基本ケースの比率を③番のところで取ってお示しております。 |
| 00:06:43 | で、 |
| 00:06:44 | そこの④番で、余裕倍率っていう値を示してます。ちょっとすいません、さっき前回のコメント回答ではマージンという言葉を使っておりましたが、ちょっとこんな招いているところあるのでちょっと余裕倍率という言葉を使わせていただいておりますが、 |
| 00:06:59 | 余裕倍率というこの倍率を、ちょっと差を上回る |
| 00:07:05 | 3の比率を上回る値を、余裕倍率として設定することとしております。 |
| 00:07:11 | ということでこの4で示した余裕倍率っていうものを、1の基本ケースの値に掛けて、 |
| 00:07:21 | ⑤番の県という鉛直振動を出しております。 |
| 00:07:25 | このようにすることで、 |
| 00:07:28 | 不確かさケースを包絡するように、⑤番の鉛直検討用地震動の値を取ることができるということで、 |
| 00:07:38 | になりますので、このような形で包絡するような形。 |
| 00:07:43 | QAと二つケースを包絡するような形をとるということをやっていたということになります。 |
| 00:07:49 | なのでちょっと一律倍率を取るという、ちょっとマージンという形でちょっとお伝えしたのでちょっと混乱を招いて、してしまっておりましたが、基本的には不確かさケースを包絡する。 |
| 00:08:01 | 者用の値をとっているというところの考え方は、特にそこからは変えておりませんので、ちょっとそのあたり、実際にどういうふうな流れで取っていったかというところが、ちょっとうまく伝わっておりませんでしたので、 |
| 00:08:15 | このような形で、実際の値を古井、 |
| 00:08:19 | 示していたかということ、計算していたかというところを、表及び、この前にちょっと説明文書を追記して、ちょっとそれを補足説明資料に追加することで、 |
| 00:08:30 | ちょっとお示しできればと考えております。 |
| 00:08:33 | はい。以上になります。 |
| 00:08:35 | はい、規制庁浜崎です。今の説明について幾つかまた追加で説明させてください。 |
| 00:08:42 | 今、提示されてますのは、高さ方向を各支店の鉛直振動での比率を考慮してますということだというふうに理解してますんで、 |
| 00:08:54 | これたまたまですという倍率というところですね右から2列目の1.081律の値ネタなっているようですけれども、これが各支店の位置に、 |
| 00:09:05 | レベルによって数字が違ってくると。 |
| 00:09:08 | 比率を上回るような丸めた数字。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|----------|---|
| 00:09:11 | になってくると、それを考慮して設計地震力にしていると、まずその理解でいいですか。 |
| 00:09:20 | で、リサイクル燃料貯蔵の寺山です。そのご理解で結構です。すいませんちょっと画面ちょっと下に移らせていただけますか。 |
| 00:09:28 | 今たまたま 1.08 のところしか写ってなかったのですが、こちらの屋根部の鉛直方向の余裕場合ですが、こちらにつきましては |
| 00:09:38 | 1.05 という値をとってるところもあります。こちらにつきましても、その左側に、3 番の列の比率であるところに 1.028 とか 1.01 と 6 とかいう値であります。 |
| 00:09:52 | それを上回るような余裕倍率をとってることとしておりまして、こういう小余裕倍率をとることで不確かさケースを包絡できるようになっていると考えております。以上です。 |
| 00:10:02 | はい、規制庁浜崎です。まず今の説明は理解しました。次にですけれども、この余裕倍率、今、この表はあくまでも最大応答加速度の比率なんですけれども、 |
| 00:10:14 | 実際応答値は、基本ケースとばらつき考慮のケースで、加速度以外のせん断力であったり軸力であったり、モーメントであったりという数値が出てくるわけなんですけれども、 |
| 00:10:26 | 加速度の比率だけで決めるんでしょうか。 |
| 00:10:31 | リサイクル燃料貯蔵の寺山です。まず、お示している鉛直震度につきましては加速度で決めております。それで曲げモーメント、転倒等に各つきましては、 |
| 00:10:44 | このちょっとすぐ線、前のページ、まずせん断力に関してなんです、二つ前の一つ前お願いできますか。 |
| 00:10:53 | こちらですね。はい。こちらが水平地震力の設定過程というところになっております。こちらにつきましては、水平地震力につきましては、 |
| 00:11:04 | 応答の水平のせん断力の最大値角の基本ケース及び不確かさ、それから CAPE 数から決めることとしていっております。それでもって水平と、 |
| 00:11:15 | 地震力せん断で入力する地震力を決めております。 |
| 00:11:20 | 同じく、曲げモーメント転倒モーメントにつきましては、すいません次のページお願いします。 |
| 00:11:26 | こちらの方で転倒モーメントの設定過程というものをちょっとお示しする予定しておりますが、同じく A と、 |
| 00:11:35 | 応答解析におきまして同程度の転倒モーメントの最大値も計算しておりますので、それを、同じく基本ケース不確かさケースのところから、 |
| 00:11:46 | 同様に、検討の検討用の転倒モーメントを出すということで同様に考慮しております。 |
| 00:11:52 | 以上になります。 |
| 00:11:54 | はい。規制庁八巻です。ここの応答結果の比率倍率で考慮をするという、 |
| 00:12:02 | ように理解しました。 |
| 00:12:04 | 今までの説明については理解をしました。これは設計を行う上での基本情報、荷重、地震力の決定要因ということで理解はしましたけれども、 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|----------|--|
| 00:12:18 | 実際その設計をさらに確認するという位置付けで影響評価、例えば、水源のことを鉛直の地震力の組み合わせでの影響評価等があるわけですが、 |
| 00:12:29 | そのときにも、このA棟余裕倍率を考慮するのでしょうか。 |
| 00:12:37 | はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。こちらでお示ししました検討用の地震力につきましては、引き続き、そういうふうな方向の方でも用いておりますので、 |
| 00:12:49 | その検討用地震力がより倍率をもとに使われてるということで計算され、元に計算されているということで、同じ考えは当初しているものとなっております。以上になります。 |
| 00:13:02 | はい。規制庁真崎です。今の説明で理解をしました。 |
| 00:13:10 | こういった結果というものが、今までは説明が、申請書或いは基本設計方針の方にはなかったというふうに理解してますけれども、 |
| 00:13:22 | 今後、 |
| 00:13:24 | 設計方針なり、耐震計算書なりに、説明をしてもらうことは可能ですか。 |
| 00:13:32 | はい。リサイクル燃料津野の寺山です。今のところ、こちらを補足説明指導の方に、あとで追加することで考えておりましたが、 |
| 00:13:43 | 申請書の方に、対補正で追加した方がよろしいでしょうかこちらですね、ちょっとRFだけをしてございます。通常炉のう設工認とか他の審査結果の |
| 00:13:57 | 審査書を見てもですね、通常ここまでは書いてないので、内容をお示しすることは、当社としてもやらなきゃいけないと思ってます。思いますが、他の申請書とのバランスを考えると、補足説明資料に書かせていただくのが一番いいんじゃないかと思っております。以上でございます。 |
| 00:14:15 | はい。規制庁浜崎です。こういうふうな情報、例えば今出てるような数値までを耐震計算書に説明は必要な、ないかもしれませんが、 |
| 00:14:26 | 設計地震力を設定する上では、こういう倍率を考慮する、した上で設定し、するというのが、計算書、或いはさらにさかのぼって、設計方針書の方ですね。 |
| 00:14:39 | にわかるように、今の基本的方針、耐震設計の基本設計方針でも読めないことはないんですね、余裕を見てたとかですね、そういう表現が、 |
| 00:14:51 | 今回の位置付けというふうに読めば読めるんですけども、なかなかここまで倍率をこういう形で考慮しているっていうのは読めませんので、 |
| 00:15:02 | 他の先行の先行炉といいますかですね、先行審査でも、当然こういうことも行われている場合もあります、行われてない場合もあるわけなので、補足説明で詳しく説明をされる。 |
| 00:15:17 | そこにコツひもづけされるような形でですね、設計方針或いは耐震計算書の方に、適切に表現をしてもらえればというふうに思いますが、いかがでしょうか。 |
| 00:15:31 | はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。はい。承知いたしました。補足で、加えるとともに、申請書の方の津野立野、耐震計算書の方のちょっと検討用地震力の |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|----------|---|
| 00:15:46 | 背算定のちょっと前のところとかに追記しようかと思うのですが、そちらの方、 |
| 00:15:54 | ちょっとそのような方法で検討したいと思います。 |
| 00:15:57 | はい。以上です。 |
| 00:16:01 | はい。北畠チケットの方お願いします |
| 00:16:03 | 上位の文章、設計方針だとかですねそちらの方に細かく記載してくださいと言うつもりは全くありませんけれども、先ほど言いましたようにこの補足に繋がる紐付けできるような形で、 |
| 00:16:15 | 資料の方、作成の方お願いしたいと思います。 |
| 00:16:19 | それと、次のちょっと質問になりますけれども、建物については一応理解をしましたけれども、 |
| 00:16:26 | 先ほどの説明ですと、機器に関しては、こういう余裕倍率を考慮していない設計になっているというふうに理解すればいいんですか。 |
| 00:16:39 | この燃料貯蔵の寺山です。はい。機器に関してはこの考え方、余裕倍率を取ることで不確かさを包絡させるという考えはとっておりません。 |
| 00:16:52 | 定期側の考え方につきましては、既設工認の補足説明のところ、補足説明資料で提示させていただきました、設計用床応答率曲線の |
| 00:17:04 | 整備方針というところで、示せる考え方で、そういう中で、アメリカ応答で包絡させることで基本的には不確かさを考慮しているというところ。 |
| 00:17:15 | をやっております、その考え方は変わっておりませんということ、かかわらず、今回もそれ、帰属しているということにしております。以上になります。 |
| 00:17:26 | はい。規制庁浜崎です。今の説明ですと、機器の設計をする上では、例えば ZPA を使うとか、設計を言った床著応答曲線を使うとか、 |
| 00:17:37 | いろんな方法があるわけですがけれども、それに関しては、建屋で行っているような余裕は余裕倍率のような考えは導入していないと。 |
| 00:17:47 | いう。 |
| 00:17:48 | 説明を、と理解をしました。 |
| 00:17:52 | 例えばですね ZPA で設計をするような機器があった場合、新居竹山で考える ZPA 震度とですね、そこは曾我。 |
| 00:18:05 | ある。 |
| 00:18:09 | 建屋の設計地震動の方が大きい値になるという、 |
| 00:18:15 | そういう考えのもとに設計をしているというふうに理解すればいいんでしょうか。 |
| 00:18:24 | 在庫の燃料貯蔵の寺山です。機器の場合については、1.2ZPA ということで、1.2 倍したものと、床応答曲線の方、あれですね、ところから取った |
| 00:18:38 | 今さ、ところでの最短短期のところの最大値のところの 1.2 倍のところというところ取ってるところで、それをその値をとってるところになっております。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|----------|--|
| 00:18:50 | それに対して今、建物に関しては先ほど、大した不確かさケースを考慮考慮するものにちょっと蓋 |
| 00:19:02 | 少し余裕を見るということで、基本ケースにちょっと倍率を掛けたもので、いや、かけることで不確かさケースを少し上回るということと、 |
| 00:19:13 | ということで建物ケースに少し上回るもの、機器については、二つあってですね1.2倍したものっていうところで、ここはちょっと考え方が違うものになっておりますが、ここは先ほど出したようにちょっと機器と、 |
| 00:19:27 | 建物とでその検定を地震力の考え方というのは、分けて考えているということで、そこは分けて考えてる。ただ、いずれにつきましても不確かさケースを包絡させるというところには |
| 00:19:41 | という基本方針が変わったの、そこは香田ちゃんと確保されているということで、問題はないかと考えております。以上です。 |
| 00:19:54 | はい、規制庁浜崎谷津機器系の、今やられている設計、これが従来のやり方といいますか、そのやり方というふうに理解してますので、それを否定するものではありません。 |
| 00:20:06 | 逆に建屋の設計の方で、ある意味余裕で包絡値を、の数値をまとめる、ちょっとオンラップさせるような形で今設計してますというふうに受け取りました。 |
| 00:20:22 | ですんでいずれもそれは設計者の考え方ということで、許容できる話というふうに理解しました。 |
| 00:20:29 | ちなみに、 |
| 00:20:31 | 建物について、今回こういう余裕倍率という表現がされる場合に位置を考慮するっていう、 |
| 00:20:39 | なぜ建物について、こういう所作を行おうとしたのか、何か理由があれば説明をしてもらえればと思うんですが、いかがでしょう。 |
| 00:20:49 | はい。リサイクル燃料との寺山です。こちら良い場合っていうか、こちらの建屋の設計につきましてもいる、いろいろ入力地震動もほとんど変わってきたり、建物の設計とかも変更。 |
| 00:21:05 | 繰り返してきているわけなんですけど、そういう中で、そういうところがある程度昔であるとまず将来予想される中で、ある程度最初に、 |
| 00:21:19 | もともと応答のハイライトから来るものから、ちょっと少し大きくとっておくという、見ておくっていうところはやってきたところがありました。 |
| 00:21:29 | やっぱそういう中で、 |
| 00:21:33 | こういう場合ですと、それが実際にはちゃんとその時々の不確かさケースを上回っているところを確認する。実際それ、もともとの考えてた深瀬宗 |
| 00:21:44 | 包絡できないということであればちょっとそこ、倍率を皆見なおしてまたそれに対して出た、検討用地震力に対して設計するというところはやってきているというところになりますので、 |
| 00:21:55 | そういうところの経緯から、こういうふうなような、ある。うん。一定の倍率っていうものをちょっと設けてっていうのが、実際、設計としてやっているというところになります。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|----------|---|
| 00:22:05 | 以上になります。 |
| 00:22:07 | はい。規制庁浜崎です。説明としては、設計者判断で、より安全性を、建物については、ちょっと考えたいという趣旨だというふうに理解をしました。 |
| 00:22:20 | 一応今回ですね全体的に今回のコメントに対する質問としては以上にしたいと思います。 |
| 00:22:30 | ので、問題意識としましてはですね最後なんですけれども、問題意識としては、やはり審査側として、通知が追える形で、 |
| 00:22:41 | やはり資料の方を作成をしてくださいという趣旨になりますので、先ほど補足説明で、最終的には細かな説明を追加されるということでしたのでですね。 |
| 00:22:52 | その補足説明の用意それと、その補足説明の位置付け、紐づけを考慮した上位文書の作成の方、準備の方お願いしたいと思います。 |
| 00:23:04 | よろしいでしょうか。 |
| 00:23:07 | はい、リサイクル燃料貯蔵の寺山です承知いたしました。 |
| 00:23:11 | はい、市長山崎です私の方から本日は以上になります。 |
| 00:23:17 | 規制庁の田仲です。 |
| 00:23:20 | つまりもう事務的なことを、今 |
| 00:23:23 | この補足説明資料を荒田またはその修正していただくと思うんですけども、大体どれくらいの時期を、 |
| 00:23:32 | 想定してればよろしいでしょうか。 |
| 00:23:36 | はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。補足説明資料につきましては、二、三日中にちょっとお出しできるかと考えております。それを、受けた |
| 00:23:48 | 規制庁のことにしましてはちょっとその他の件もありますが、少しちょっとお時間いただければと考えております。以上です。 |
| 00:23:59 | 規制庁の%で承知いたしました。そしたら補足説明資料の方の改訂版ができましたらまた、提出の方よろしくをお願いいたします。 |
| 00:24:11 | はい。実際これに大園寺間です承知いたしました。 |
| 00:24:18 | 木内浜崎なんですけれども、本日のヒアリングはですね大きなところとか、メインのところについては理解をしましたけれども、 |
| 00:24:28 | 提出されてます申請図書関係で、多分記載上の話が多いんですけども、幾つか確認したい点がありまして、 |
| 00:24:40 | ちょっとお礼はですね日を改めてちょっと詳細に、こちらとその事業者との確認をさせてもらいたいというふうに思ってますがそういったセッティングは可能でしょうか。 |
| 00:24:58 | はいサイクル燃料貯蔵ノーですはい設定は可能ですがこういったヒアリングのスタイルでということでしょうか。 |
| 00:25:06 | 院長浜崎です。はいこのスタイルでお願いしたいと思います。 |
| 00:25:13 | はいでは両方で申請書を見ながら、このページの記載があるような、或いは、何かいただきに行って実際に教えていただければ、説明も効率的になると、それ駄目なんだ。 |

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

| | |
|----------|---|
| 00:25:25 | 来てた形で、やはり正式なヒアリングへとっとりたいと思いますので、対応の方をお願いします。 |
| 00:25:34 | 規制庁の田仲で場合によっては対面でっていうのもあるかもしれませんがその辺りについてはどのような形でヒアリングするかについてはまた別途、 |
| 00:25:43 | 日時も含めて調整させていただければと思います。 |
| 00:25:49 | 三崎の燃料貯蔵の承知いたしました。 |
| 00:25:54 | 市長の日ですけども、具体的なちょっと井戸日取りまではいかないんですが、今月中にお願いすることは可能ですか。 |
| 00:26:06 | はいあれそうです。今日中、大丈夫です。よろしくをお願いします。 |
| 00:26:11 | はい。院長浜崎です。ではこちら市長側から、またひどい等、連絡させていただきますので、対応の方をお願いします。以上です。 |
| 00:26:29 | 規制庁の田中規制庁側からは以上なんですけども、あれ須川から何かありますでしょうか。 |
| 00:26:37 | あれ S 東京事務所特にございません。宇津はいかがでしょう。 |
| 00:26:43 | はい。RS 牟田でございません。特にございません。 |
| 00:26:51 | 規制庁田中です。すいません |
| 00:26:53 | 速水さん出席者についてはちょっと別途メール等で本日出席者の方の連絡をいただければと思います。 |
| 00:27:03 | それでは本日はこれで終了させていただきます。どうもありがとうございました。 |
| 00:27:09 | ありがとうございました。ありがとうございました。 |

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。